

障害者に対する就労支援の推進 ～平成23年度障害者雇用施策関係予算の概要～

資料4

平成23年度予算額 218 (212)億円

※括弧書きは前年度予算額

I 雇用率達成指導の強化と地域の就労支援の強化

68 (71)億円

- ◆ ハローワークを中心とした地域の福祉や教育等の関係機関との連携による「チーム支援」の推進
- ◆ 身近な地域で、就業面と生活面の一体的な支援を行う「障害者就業・生活支援センター」の拡充
【設置箇所数 282センター → 322センター】
- ◆ ハローワーク紹介により短期間(3か月)の試行雇用を行う事業主に対し助成する「トライアル雇用」事業の推進【対象者 9,000人】 等

II 障害特性や働き方に応じた支援策の充実・強化

27 (21)億円

- ◆ 障害特性に応じた総合的な雇用支援の実施
 - ◇ ハローワークにおいてカウンセリング業務や精神障害者に関する企業への意識啓発などを行う「精神障害者雇用トータルサポーター(仮称)」を配置
 - ◇ カウンセリングを行う専門家を雇うなど、精神障害者が働きやすい職場づくりを行う事業主に対し支給される奨励金(「精神障害者雇用安定奨励金」)の更なる活用促進
 - ◇ 発達障害者や難病のある人を雇用し、適切な雇用管理等を行う事業主に対し支給される助成金(「発達障害者雇用開発助成金」/「難治性疾患患者雇用開発助成金」)の更なる活用促進 等
- ◆ ハローワークや労働局において精神障害者などを雇用する「チャレンジ雇用」の推進【170名→370名】
- ◆ 在宅就業障害者の支援制度(「在宅就業支援団体」など)の周知・広報活動の実施 等

III 障害者の職業能力開発支援の強化

56 (60)億円